

エリック

- 編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 TEL 36-0231
宇都宮市立東図書館 今泉町2137番地 〒321 TEL 38-5614

今年の対象は
一色刷りと開館当時のもの

今年度対象とならない方については、来年度以降に順次変更してまいりますのでご理解願います。

- 今年変更の対象となる方
- (1)これから新しく登録される方
 - (2)東図書館で発行の貸出券をお持ちの方
 - (3)貸出券裏面の有効期限欄に次の4種類のスタンプが押してある貸出券をお持ちの方
 - (4)黒のスタンプで

P112224997

新しいプラスチックカード

[illegible]

- | | | | | | | | |
|-----------------------------------|---------------|-----------------------------------|---------------|-----------------------------------|---------------|------------------------------------|--|
| 93、
7、
1
94、
12、
1 | ⑤ 緑の
スタンプで | 65、
7、
1
66、
12、
1 | ⑦ 赤の
スタンプで | 62、
7、
1
63、
12、
1 | ① 青の
スタンプで | 59、
7、
6
60、
12、
26 | |
|-----------------------------------|---------------|-----------------------------------|---------------|-----------------------------------|---------------|------------------------------------|--|

市立図書館
市立東図書館

移動図書館

変更される方は必ずお手持ちの貸出券をご持参のうえ、ご本人が手続きをしてください。

※ 本やCDなど、資料の予約をされている方は、貸出券の変更をおこなうと、予約の順番が遅れることがあります。現在お使いになっている貸出券も使えますので、予約している資料の貸出を全てうけてから貸出券の変更をしていただくことをお勧めいたします。

詳しくは、カウンター係員におたずねください。

なお、住所や電話番号が
変わった場合は、その都度
図書館に変更の届け出をし
てください。

OUT
D
O
O
R

宇都宮「展」

スポーツやレジャーの季節になりました。

この秋どこに出かける予定はありますか。時間がなくて遠出ができませんい…………

でも近場で、ピクニックやサイクリングが楽しめる所があるので

今回は宇都宮市を中心に、名所や公園をご案内いたします。市内なのでご家族そろってお出かけになれますし、休みが一日あれば充分楽しめることでしょう。また、県内の観光地やスキー場などもご紹介いたします。

期 日 平成5年10月1日
場 所 宇都宮市立図書館

1階
3階
ロビ



平安王朝を彩る女たち

—式子内親王の面影びと—他

講師 石丸晶子氏

平成5年7月4・18・25日の三回にわたり、講座を開催しました。

講師には、東京経済大学教授の石丸晶子氏をお迎えし、式子内親王をはじめとする皇女たちの生涯についてお話していただきました。

式子内親王は、一一五三年後白河天皇の第三女として生まれました。

その後、平安末期の源平盛衰の動乱に終始した時代背景の中で生きてゆき、のち出家し承如法と号し一一〇一年49歳で死去しました。

講座では、第一回、

第二回目と式子内親王の生涯を中心に、この講座のサブタイトルでもあります式子の面影びとについてお話をいただきました。

式子の生涯は、男性との関わりが、非常に少なかった。式子が生きた院政期には、式子と同じ皇女は、33人いたが結婚しているのはたった一人でした。これは、継嗣

令により内親王は親王としか結婚

できないとされているため、身分の違う者との恋はかなわなかったのです。その上でもう一度式子の歌を読み返してみますと、そのほとんどが、忍ぶ恋(かなわぬ恋)を読んだものであることがうかがえます。このことから式子には恋人、それもかなわぬ恋人がいたと言えます。

さて、その恋人であります、当初藤原定家が家司として近くにいたことや、定家の姉二人が式子の家で侍女をしていたことなどが



ら、定家が恋人とされていていたが現代では、違うとされています。また竹西寛子氏によりまずと平家の公達ではないかという考えもありますが違う。その後長い間恋人が誰であるかわからないまま

でした。そして石丸氏は、法然が臨終近い式子にあてた手紙が残っていることから、恋人が法然であるとした。法然ならばつじつまが合うのです。つまり、法然の立場上結婚は無理でありますし、逆に会うのは、仏様のお話をするという事で、式子とは、頻りに会うことができました。

それに、当時お坊さんは身分を取り払った階層でしたので、すだれのようなものなしで、直接会って、話をする事ができました。

このようなことから、式子が法然に思いをよせていき、思影びとなったことがわかりました。

最終回では、平家物語の話して始まりました。そして物語の中に登場する建礼門院の生涯を、先生がNHKに御出演なさった時のビデオを観賞しながら、お話をさせていただきました。今までの講座では、みられなかった形式の講義のせいか、受講者にも充実した最終回であったようでした。

なお、この講座は講師である石丸晶子氏、受講者の両方から喜ばれた講座でした。

郷土資料コーナー

『栃木のおもしろ方言』

森下喜一編著・栃の葉書房発行

一九九一年・一、三〇〇円

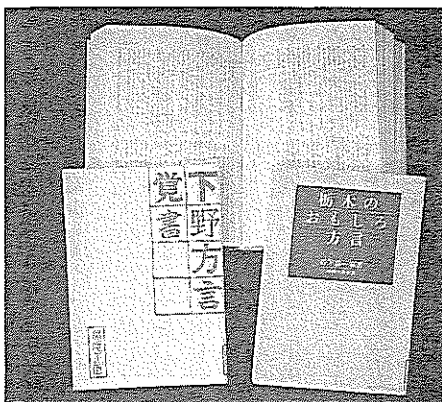
方言は、その土地に住んでいる人々の生活や習慣、ものの考え方など深いかわりをもっています。どのよう

な方言が使われているか、どんな時にどのように使われるかを考えることによって、その土地の地域性や、さらには県民性をうかがうこともできるでしょう。

この本は、「動物・植物・遊びに関する方言」「生活に関する方言」「日常使う動詞・形容詞」「ことばの使い方」の四章で構成されており、県内の方言の中でも、特に日常生活と密接に結びついている言葉が広く集められています。

また、方言がどこから栃木県へ伝わって来たのか、そして県内にもどのように広がっていったのか、その経路が図でわかりやすく説明されています。語源や、言語生活とのかわり、今後の変遷についても考察が加えられている点もこの本の特徴といえるでしょう。

執筆には、作新学院大学教授の森下喜一氏をはじめとする六名があたりました。言葉や方言に関心



『下野方言覚書』

黒尾正臣著・下野新聞社発行

一九八八年・一、三〇〇円

『栃木県方言辞典』

森下喜一著・桜楓社

一九八三年・四、八〇〇円



『子どもに 楽しい本との出会いを』

講師 宮田直美氏

7月18日(日)、東図書館二階集會室において、開催しました。

講座 子どもと本 第2回

講師には、手作り絵本の会ポコ・ア・ポコの主宰者であり、宇都宮子どもの本連絡会会長でもある宮田直美氏をお迎えしました。

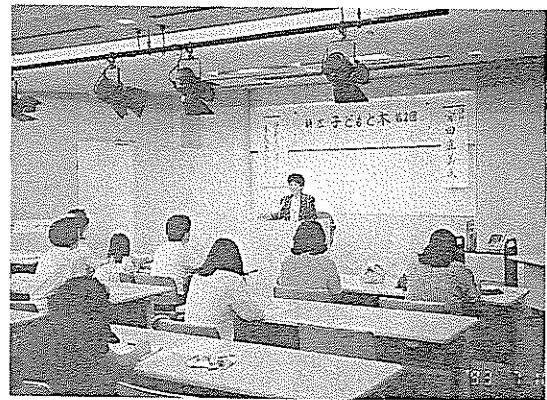
講座は、講師が児童文庫活動を通して得た経験をまじえながら、子ども

が初めて本に出会い、その楽しさを理解していくために、大人は何かをしてあげるべきかということを中心に行われ、質疑応答では、講師と受講者の積極的な意見交換が見られました。特に、「大人が子どもに本を読んであげる姿勢が一番大事」という言葉が強く印象に残りました。

また、本に興味を持つきっかけとなる、様々な本を紹介され、実際に読み聞かせもしていただきました。終了後、早速その本を借りていく受講者の姿も見受けられました。

この講座を受講されて、子ども

と本をとりまく環境について様々な思いを持ったようでした。



こわくて楽しい昔話を聞く会

講師 川島保徳氏

8月8日(日)、東図書館二階集會室で、夏休みおたのしみ会として開催しました。

今回は、プロのかたりべとして全国各地を語り歩いている川島氏を東京からお招きして、こわいお話や楽しいお話をいくつも語っていただきました。

普段はなじみの薄い昔語りですが、歯切れよく力強く「むかしむかし」と始まると、子どもも大人もたちまちお話の中に引き込まれ、語り手の呼びかけに応えたり大きな声で笑ったりしていました。

次々と語られる昔話のあいまには、指人形のポンちゃんも登場して、語り手と聞き手をつなぐ大役を務め、更に楽しい雰囲気盛り上がりしました。

また、語りだけではなく、絵本の読み聞かせもさりげなく組み込まれ、1時間半の間に盛りだくさんのプログラムでした。

会のあとで、講師の計らいで、大人だけで昔話や語るということについて話し合う時間が設けられ、十数名残った全員から様々な質問が出され、予定時間をオーバーしての終了となりました。



平成五年度

読書会推進講座

夏目漱石

『吾輩は猫である』を読む

講師 米田 利昭 氏

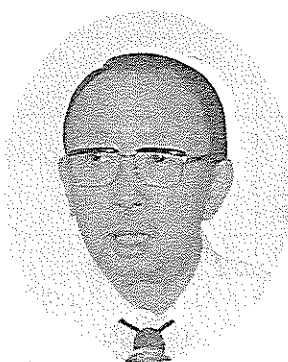
平成5年9月5日(日)

『吾輩は猫である』(以後『猫』と表記)

は、漱石の処女作にしてその後の全作品の内容を含んでいる。米田氏は、そこで著されている三つの主題を次のように説明し、『猫』を通して漱石作品をわかりやすく分析・解説してくださった。

主題の一つは不明批評。この文明とは西洋文明を指す。それから未来記。西洋文明が入ってきたことに伴い人間関係も変化してきた。その結果起こりうることを漱石は予見して小説に著している。それは現代の世の中そのものであり、そこに漱石のするどさがうかがえる。三つめは漱石の女性観。それを主人公「苦沙弥」の細君に対する感情を通して著している。「苦沙弥」は細君の悪口をたくさん言う。そこには漱石の女性を疑う気持ちが表われている。子どもの頃、母親に捨てられたことが尾を引いていると思われる。

以上の三つの主題についての他



近代文学において「未来記」を記したと思われる芥川龍之介の『河童』との比較についての解説も興味深かった。どちらの作品にも厭世観やその時代への風刺、戦争批判などが描かれているが、戦争批判に関しては、漱石は全否定ではないところが時代背景の差であろう。

以上であるが、わかりにくい内容の『猫』を楽しく分析されてよかった、と参加者からも好評だった。



講座 子どもと本

第4回「手あそび、指あそびをおぼえよう」

・日時 平成5年10月17日(日)
午後2時～午後4時

・講師 林谷 政子氏

申し込みは、10月7日(休)
午前9時30分から

第5回

「パネルシアターの楽しみ方」

・日時 平成5年11月21日(日)
午後2時～午後4時

・講師 小林 静子氏

申し込みは、
11月4日(休)
午前9時30分から

・場所 市立東図書館
2階集会室

・定員 各々50名

受講料 無料

申し込みは、直接または電話で
東図書館まで ☎38-5614

講座 短詩型文学とユーモア

「短歌俳句、川柳に親しむために」

・場所 市立東図書館2階集会室

・日時 平成5年12月5日(日)
午後1時30分～午後3時

・講師 小林幸夫氏(宇都宮大学
教育学部助教授)

・定員 50名 受講料 無料

申し込みは、11月18日(休)午前9
時30分から、直接または電話で
東図書館まで ☎38-5614

第67回落語会

視力障害者用テープ作成のため
の落語会を開催します。

・日時 11月28日(日) 午後3時～

・場所 市立図書館 二階集会室

・出演 のんき亭喜楽一門会

・入場料 無料
多数のご来場をお待ちしており
ます。

ニュース
コーナー

平成5年度

「子どもと

子どもの本を
つなぐ講座」

・日時 平成5年11月7日(日)
午後1時30分～3時30分

・会場 市立図書館二階集会室

・講師 二田村信行氏(児童文
学作家)

・テーマ 自作を語る

・定員 120名 受講料 無料

申し込み 10月21日(金)午後9時30
分から、直接または電話で市立図
書館へ。

・その他 託児があります。2歳
以上のお子さん20名まで。おやつ
代として実費150円がかかります。申
込時に予約して下さい。

ボランティアのみなさん
ありがとうございます

点字・声の図書製作
状況(5年7・8月)

▽点字図書 「バレ
ーダンサー(上)(下)」日
本武尊 「少年」ほか
13タイトル39冊
▽声の図書 「黄昏
の囁き」「ほんとうの
長寿社会をもとめて」

ほか10タイトル48巻

▽点字図書 22冊 62冊

▽声の図書 63冊 63冊

▽墨字本 598人 833人

7人 978人 32冊

寄
贈

小島廷介(旅のそば書き)、佐藤

孝子(新版親子で楽しむ博物館が

イド首都圏パート2)、小野瀬一郎

(くさぶえ70号夏)、平山正美(死

ぬまで生きる)、高田太郎(春の土

管、朝日新聞栃木歌壇友の会年

刊合同歌集、小沢一郎(日本改造

計画)、瀬木志津夫(涙を拭いて立

ち上がり)、山瀬育男(解説、村西

義一(天皇制の研究)、花ヶ前盛明

(上杉謙信)、風間五郎平(大転換

期)、高桑美術印刷(艶のかたさ金

沢、造幣局泉友会(通り抜けの八

重移、橋本康子(宮沢賢治の国よ

り)、他多数

利用案内

○開館時間

午前9時30分～午後7時(ただ
し、児童図書室は午前9時30分
～午後5時)

○休館日

・毎週月曜日
・国民の祝日

・毎月第二日曜日(市立)
「第四」(市立東)

・図書整理日(毎月初日、ただし
初日が土・日・月の場合は次の火
曜日)

○講座の問合せ・申込みは
それぞれの図書館に電話または
直接どうぞ

10月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					①	2
3	④	5	6	7	8	9
10	⑪	⑫	13	14	15	16
17	⑱	19	20	21	22	23
24	⑳	25	26	27	28	29
31						

11月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		①	②	③	4	5
7	⑧	9	10	11	12	13
14	⑮	16	17	18	19	20
21	⑳	㉑	㉒	24	25	26
28	㉓	30				

○=休館日 □=市立図書館のみ休館 ▢=市立東図書館のみ休館

貸出状況

区 分	5年7月	5年8月
登 録 者 数	180,613人	182,117人
貸 出 人 数	市 立	16,348
	市 立 東	15,469
	公 民 館 ・	4,368
	地区センター	4,090
	移 動 図 書 館	1,418
合 計	37,603	39,512
貸 出 冊 数	市 立	65,212
	市 立 東	69,207
	公 民 館 ・	17,204
	地区センター	17,710
	移 動 図 書 館	8,601
合 計	160,224	162,163

(注) ・登録者数には、開館からの累計数
・公民館には、オンライン化されてい
ない公民館の貸出も含まれています。